

教えて!
ドクター

Q&A

Q 検診で首のあたりに雑音があるといわれました。どういうことでしょうか?



A 頸動脈狭窄症(CAS)

は、首の左右にある心臓から脳に血液を送る主要な血管である頸動脈に動脈硬化が進行し、血管が狭くなる(狭窄)病気で、その狭くなったところを血液が通過する際の乱流により血管雑音が発生します。その動脈硬化の多くは、血管の壁に悪玉コレステロールが溜り込み蓄積することで形成されるプラーク(血管内のコブ)を原因とします。

CASの診断・評価には、体

に負担なく繰り返し行える頸動脈の超音波検査が有用で、動脈硬化の有無、血管の詰まり具合(狭窄度)、プラークが脳梗塞を起こしやすいかどうかの判断ができます。脳梗塞のうち、狭窄率50〜99%の頸動脈狭窄症から脳梗塞が引き起こされる確率は10〜15%との報告もあります。

CASは脳卒中のリスク因子ですが、全身の動脈硬化性疾患のひとつの表れでもあり、頸動脈に動脈硬化があると心臓の冠動脈病変(心筋梗塞・狭心症)や下肢動脈、全身の他の血管にも病変が合併していることが多いと報告されています。また、症状ないCASを経過観察すると、数年後に心筋梗塞、心不全、腎不全、癌を発症することも少なくなく、診療においては全身疾患として捉えることも必要となります。

このように頸動脈の動脈硬化の状態を評価することは、全身病としての将来のリスクを

事前に知ることでき、早めに対策を始めることも可能となります。狭窄率が低い場合は、内科的治療(薬物治療・生活習慣の改善)を行い、狭窄が高度になれば、脳梗塞を予防するために、プラークを摘出する外科的治療や狭くなった頸動脈を広げるカテーテル手術があります。

頸動脈雑音は頸動脈の動脈硬化のサインであり、一度循環内科あるいは脳外科などの専門医を受診し相談されることをお勧め致します。

神戸大学医学博士。日本循環器学会循環器専門医。神戸大学病院や民間病院で20年以上多数の心臓ペースメーカーやカテーテル手術をはじめ、生活習慣病や人工透析にも携わる。現在は、専門分野である循環器・呼吸器疾患を中心に、地域のかかりつけ医として幅広い年齢の患者様を診療する。



北村内科クリニック
理事長 北村 秀綱